

普及活動情勢報告（令和6年10月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

奈良県出前授業 ～「れいほく八菜」PR～



れいほく八菜についての授業の様子

9月27日、JA高知県れいほく園芸部は園芸部長、JA職員2名、普及職員1名で奈良県の天理市立櫛本小学校に出向き、食育授業を行い「れいほく八菜」のPRを行いました。授業は「れいほく八菜」とIPMの説明に1時限、米ナスピザの紹介と調理に1時限の計2時限で行いました。普及所は園芸部長と一緒に「れいほく八菜」とIPMの説明を行いました。

生徒からは「高知の野菜で日本一作っているのは？」「米なすを今日初めて食べた。」等の質問や感想が聞かれました。

普及所は栽培技術向上支援とともに消費宣伝等の園芸部活動も引き続き支援していきます。

松木野営農組合の6次産業化の取り組み



ペーストを取り出す様子

10月1日、松木野営農組合は、工業技術センターの助言を受けながら開発したサツマイモペーストの試作に取り組み、普及所は工業技術センターとともに助言指導を行いました。

組合員は芋の糖化に適した加熱温度や加熱時間、加工用機械の使用方法、作業手順等について理解を深めました。

松木野営農組合は、他にもサツマイモを利用した加工品の開発に取り組んでおり、新芋の時期に試作を行います。

普及所は引き続き工業技術センターと連携しながら、6次産業化の取り組みを支援していきます。

農地の受け皿となる法人の経営力強化に向けた取組 ～（株）大豊ゆとりファーム定例会～



定例会の様子

（株）大豊ゆとりファームでは、経営改善を目的として各事業部門の月次予実管理に取り組んでおり、進捗状況の共有や今後の取組内容を協議するため、毎月定例会を開催しています。

10月の定例会が10月7日に開催され、関係者（ゆとりファーム・大豊町・普及所）6名が参加しました。

「野菜部門では、一物品目で高温障害により計画の収量を下回っている」、「全体としては経費をうまく削減できており、概ね計画通りに進んでいる」などの意見があり、普及所から次作の品目構成等について助言しました。

今後も普及所は関係機関と連携し、農地の受け皿となる法人の経営力強化に向けて支援していきます。

ミニトマト現地検討会
～生産性向上を目指して～



みんなで意見交換中！

10月15日、JA高知県れいほく園芸部ミニトマト部会は現地検討会を開催し、部会員8名、大豊町役場1名、JA1名、普及所1名が参加しました。

部会員らはほ場の様子を確認しながら、今作の反省点や次作に向けての対策などを検討しました。

普及所からは、遮熱資材の試験の経過、月末に行うミニトマト他産地視察の旅程内容を周知しました。部会員からは着果ホルモン剤の使用方法や、視察先の栽培方法について質問がなされるなど、意欲の高まりが感じられました。

今後も普及所は、ミニトマトの高品質・安定生産に向けて生産者を支援していきます。